

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方法を採用している。

建物附属設備	定額法
機械装置	定率法
工具器具備品	定率法
商標権	定額法

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
普通預金	85,202,788	63,963,937	0	149,166,725
外貨預金	0	1,028,573	0	1,028,573
小計	85,202,788	64,992,510	0	150,195,298
合計	88,202,788	64,992,510	0	153,195,298

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
普通預金	149,166,725	(149,166,725)	(0)	(923,125)
外貨預金	1,028,573	(1,028,573)	(0)	(0)
小計	150,195,298	(150,195,298)	(0)	(923,125)
合計	153,195,298	153,195,298	(0)	(923,125)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	600,480	43,584	556,896
機械装置	6,679,220	1,113,203	5,566,017
工具器具備品	3,117,952	903,159	2,214,793
商標権	265,906	53,181	212,725
合 計	10,663,558	2,113,127	8,550,431

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取寄付金	342,113,134
経常外収益への振替額 固定資産取得等	3,718,432
合 計	345,831,566